

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	災害時の交通・物流に資する拠点間連携強化（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	浜松市												
計画の目標	市内の拠点や周辺地域を結ぶ道路におけるバイパス整備や幅員狭小等の解消により、緊急時・災害時にも安定した輸送等を支える道路ネットワークを早期に構築し、地域の連携強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,261	A	4,261	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R3当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R5末
1	拠点間の連携に資する道路ネットワークを強化するため、対象路線のバイパス整備により地域拠点までに要する時間を20%短縮する。 地域拠点へのアクセス時間短縮率 $\{ [要素事業の現道での所要時間(分)] - [要素事業供用による所要時間(分)] \} / [要素事業の現道での所要時間(分)] \times 100$	0%	5%	20%
2	山間地域の生活拠点の連携を強化、緊急輸送路の通行の安全性を高めるため、幅員狭小、視距改良等の道路整備により局所改良必要区間の割合を15%から14%に減少させる。 対象路線の生活拠点を連絡する経路のうち、幅員狭小、視距改良区間の割合 $[幅員狭小、視距改良区間延長(km)] / [対策路線の道路延長(km)] \times 100$	15%	15%	14%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	改築	(国)152号・水窪～ 佐久間(大井)	局所改良 N=1箇所	浜松市						990	-	
	A01-002	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	改築	(国)152号・浜北～ 天竜バイパス(阿蔵)	バイパス L=0.45km	浜松市						56	-	
	A01-003	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	改築	(国)257号・金指西 工区	交差点改良 L=0.60km	浜松市						1,390	-	
	A01-004	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	国道	改築	(国)473号・川合～ 大井(上野)	局所改良 N=1箇所	浜松市						985	-	
	A01-005	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	市町村 道	改築	(市)有玉南初生線B P	バイパス L=0.67km	浜松市						340	-	
	A01-006	道路	一般	浜松市	直接	浜松市	都道府 県道	改築	(一)細江浜北線・雷神 橋	現道拡幅 L=0.24km	浜松市						500	-	
												小計						4,261	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						4,261		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
「浜松市公共事業事後評価実施要綱」に基づき審議を行い、評価の判定及び対応方針を決定	令和8年3月19日
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>地域拠点へのアクセス時間短縮率 「(国)152号・浜北～天竜バイパス(阿蔵)」及び「(国)257号・金指西工区」、「(市)有玉南初生線バイパス」の供用により、緊急時・災害時にも安定した輸送等を支える道路ネットワークが整備され、市民の安全・安心の向上につながった。</p> <p>。対象路線の生活拠点を連絡する経路のうち、幅員狭小、視距改良区間の割合 「(国)152号・水窪～佐久間」及び「(国)473号・川合～大井」、「(一)細江浜北線・雷神橋」の拡幅により、山間地域等の生活拠点の連携を強化、また、緊急輸送路の通行の安全性が向上した。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(国)257号・金指西工区」は、金指西交差点を南進左折していた車両の内約半数(47%)が南進直進することとなり、交通の分散効果を確認</li> <li>・バイパス整備に合わせ、歩道を整備することで、すべての人にとって安全・安心なみちづくりを推進</li> </ul>
特記事項(今後の方針等)	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	地域拠点へのアクセス時間短縮率	
	最終目標値	20%
	最終実績値	20%
2	対象路線の生活拠点を連絡する経路のうち、幅員狭小、視距改良区間の割合	
	最終目標値	14%
	最終実績値	14%